

【意見・要望・評価等】

- ・コロナ禍で対面の機会が減少したとしても、対面の機会を確保して生徒一人一人の状況を把握し、生徒に寄り添った支援を進めることが重要である。
- ・「ふるさと愛」を持つことは大切である。地元を知り、学び、発見する等、協働から喜びを感じられる教育へつなげてほしい。
- ・中学生等への情報発信として、ホームページ等を活用し、実際に学校見学をしているかのような「動画」でPR出来るとよい。
- ・「総合的な探求の時間」が7限目に行われることで、部活動に影響していると思われる。6限以内に収めて部活動時間を確保することはできないか。
- ・ICT機器の活用により安心して授業が受けられる体制が取られるだけでなく、ICT機器の活用により学力アップにつながることも期待したい。
- ・生徒による授業評価で、昨年度より「そう思う」と回答した数値が下がった一要因が、年度当初に対面授業ができなかったためであるとのことなので、今後オンラインによる授業支援を行う際には、内容や進め方を工夫して取り組んでいただきたい。
- ・人の話を理解し自分の意見を正しく言える生徒の育成が重要である。生徒のコミュニケーション力の育成をお願いしたい。
- ・コロナ禍で、進路指導から決定まで苦難はあったものの、進路指導の目標達成に向けた先生方のご指導と、子どもたちの柔軟な対応で進路決定がなされている。より一層の指導をお願いしたい。
- ・次年度に向けた課題で、今後もコロナ禍等で経済が安定しない事が予想される。企業倒産や家庭の経済面等を考慮した進路指導が大切になる。早期対応をお願いしたい。
- ・年度当初の自宅待機（学習）中も、担任の先生中心に心のケアをされたことは良かった。
- ・データからは問題が見られないが、今までとは違う生活様式を続けている。今後、注視し見守る必要がある。
- ・毎年の傾向かと思うが、遅刻者数が多いのが気になる。生徒個人のモラルの問題であるが、社会人になってからはありえない事なので、保護者と連携してご指導願いたい。
- ・心のケアを重視し、アンケート回数を増やして対応された。今後も継続して生徒に寄り添っていただきたい。
- ・ボランティア活動、社会貢献活動などにより社会人としての在り方を学ぶことも重要である。身近なところから社会との接点を見出し、学びを深めてほしい。
- ・素直で挨拶がよく、積極的な取り組みをする生徒が多いと思うが、より一層生きる力、個を伸ばす教育をお願いしたい。
- ・岐阜総合学園高校が（進路指導の目標にある）中学生、在校生から「行きたい学校」、「成長できる学校」、「自分が輝ける学校」、「生きがいを持てる学校」、保護者から「子どもを安心して送り出せる学校」、卒業生から「誇りの持てる学校」と言われるような特色ある学校づくりに尽力願いたい。